

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 19 年 8 月 16 日 (2007.8.16)

【公開番号】特開 2006-19843 (P2006-19843A)
 【公開日】平成 18 年 1 月 19 日 (2006.1.19)
 【年通号数】公開・登録公報 2006-003
 【出願番号】特願 2004-193325 (P2004-193325)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 7/18 (2006.01)

H 0 4 N 5/765 (2006.01)

H 0 4 N 5/915 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 7/18 D

H 0 4 N 5/91 L

H 0 4 N 5/91 K

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 6 月 29 日 (2007.6.29)
 【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

外部装置と通信可能な画像取得装置であって、
 画像データを生成する時間間隔を指定するための時間間隔指定情報を、外部装置から受信する指定情報受信手段と、

前記時間間隔指定情報に含まれる前記時間間隔を用いて、画像データを生成する制御手段と、

前記時間間隔で生成される画像データに対して、当該画像データの取得時刻を示す取得時刻情報を付与する取得時刻情報付与手段と、

前記取得時刻情報を付与した画像データを前記外部装置に対して送信する画像データ送信手段とを有することを特徴とする画像取得装置。

【請求項 2】

前記時間間隔指定情報はフレームレートであり、前記時間間隔は前記フレームレートにより決定され、前記画像取得時刻情報は前記画像データのフレームシーケンス No. に含まれることを特徴とする請求項 1 記載の画像取得装置。

【請求項 3】

画像取得装置と通信可能な画像管理装置であって、

前記画像取得装置に対して画像データを生成する時間間隔を指定するための時間間隔指定情報を送信する指定情報送信手段と、

前記画像取得装置を特定する情報と前記画像取得装置に対して指定した前記時間間隔指定情報とを記憶する指定情報記憶手段と、

前記画像取得装置から、前記時間間隔指定情報に基づいて撮影された画像取得時刻情報を含む画像データを受信する受信手段とを有することを特徴とする画像管理装置。

【請求項 4】

前記時間間隔指定情報はフレームレートであり、前記時間間隔は前記フレームレートにより決定され、前記画像取得時刻情報は前記画像データのフレームシーケンス No. に含

まれることを特徴とする請求項 3 記載の画像管理装置。

【請求項 5】

前記画像管理装置は前記画像取得装置とシステム時刻が同期しており、

前記時間間隔指定情報に示される時間間隔で前記画像取得装置において生成された画像データを送信した前記画像取得装置から受信した画像データが、前記時間間隔で生成されたか否かを、前記時間間隔指定情報と前記受信した画像データに含まれる画像取得時刻情報とに基づいて判定する判定手段とを更に備えることを特徴とする請求項 3 又は 4 記載の画像管理装置。

【請求項 6】

請求項 1 又は 2 記載の画像取得装置と、請求項 3 乃至 5 の何れか 1 項に記載の画像管理装置とを有することを特徴とする画像管理システム。

【請求項 7】

画像データを取得する画像取得装置の制御方法であって、

画像データを生成する時間間隔を指定するための時間間隔指定情報を、外部装置から受信する指定情報受信ステップと、

前記時間間隔指定情報に含まれる前記時間間隔を用いて、画像データを生成する制御ステップと、

前記時間間隔で生成される画像データに対して、当該画像データの取得時刻を示す取得時刻情報を付与する取得時刻情報付与ステップと、

前記取得時刻情報を付与した画像データを前記外部装置に対して送信する画像データ送信ステップとを有することを特徴とする画像取得装置の制御方法。

【請求項 8】

画像データを管理する画像管理装置の制御方法であって、

画像データを生成する撮像手段を備えた外部装置に対して送信され、前記撮像手段による画像データの生成処理の時間間隔を指定するための時間間隔指定情報を生成する指定情報生成ステップと、

前記画像取得装置を特定する情報と前記画像取得装置に対して指定した前記時間間隔指定情報とを記憶する指定情報記憶ステップと、

前記画像取得装置から受信した、前記時間間隔指定情報に基づいて生成された画像取得時刻情報を含む画像データを記憶する画像記憶ステップとを含むことを特徴とする画像管理装置の制御方法。

【請求項 9】

画像データを生成する時間間隔を指定するための時間間隔指定情報を、外部装置から受信する指定情報受信ステップと、

前記時間間隔指定情報に含まれる前記時間間隔を用いて、画像データを生成する制御ステップと、

前記時間間隔で生成される画像データに対して、当該画像データの取得時刻を示す取得時刻情報を付与する取得時刻情報付与ステップと、

前記取得時刻情報を付与した画像データを前記外部装置に対して送信する画像データ送信ステップとをコンピュータに実行させるためのプログラム。

【請求項 10】

画像データを生成する撮像手段を備えた外部装置に対して送信され、前記撮像手段による画像データの生成処理の時間間隔を指定するための時間間隔指定情報を生成する指定情報生成ステップと、

前記画像取得装置を特定する情報と前記画像取得装置に対して指定した前記時間間隔指定情報とを記憶する指定情報記憶ステップと、

前記画像取得装置から受信した、前記時間間隔指定情報に基づいて生成された画像取得時刻情報を含む画像データを記憶する画像記憶ステップとをコンピュータに実行させるためのプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

本発明の画像取得装置は、外部装置と通信可能な画像取得装置であって、画像データを生成する時間間隔を指定するための時間間隔指定情報を、外部装置から受信する指定情報受信手段と、前記時間間隔指定情報に含まれる前記時間間隔を用いて、画像データを生成する制御手段と、前記時間間隔で生成される画像データに対して、当該画像データの取得時刻を示す取得時刻情報を付与する取得時刻情報付与手段と、前記取得時刻情報を付与した画像データを前記外部装置に対して送信する画像データ送信手段とを有することを特徴とする。

本発明の画像管理装置は、画像取得装置と通信可能な画像管理装置であって、前記画像取得装置に対して画像データを生成する時間間隔を指定するための時間間隔指定情報を送信する指定情報送信手段と、前記画像取得装置を特定する情報と前記画像取得装置に対して指定した前記時間間隔指定情報とを記憶する指定情報記憶手段と、前記画像取得装置から、前記時間間隔指定情報に基づいて撮影された画像取得時刻情報を含む画像データを受信する受信手段とを有することを特徴とする。

本発明の画像取得装置の制御方法は、画像データを取得する画像取得装置の制御方法であって、画像データを生成する時間間隔を指定するための時間間隔指定情報を、外部装置から受信する指定情報受信ステップと、前記時間間隔指定情報に含まれる前記時間間隔を用いて、画像データを生成する制御ステップと、前記時間間隔で生成される画像データに対して、当該画像データの取得時刻を示す取得時刻情報を付与する取得時刻情報付与ステップと、前記取得時刻情報を付与した画像データを前記外部装置に対して送信する画像データ送信ステップとを有することを特徴とする。

本発明の画像管理装置の制御方法は、画像データを管理する画像管理装置の制御方法であって、画像データを生成する撮像手段を備えた外部装置に対して送信され、前記撮像手段による画像データの生成処理の時間間隔を指定するための時間間隔指定情報を生成する指定情報生成ステップと、前記画像取得装置を特定する情報と前記画像取得装置に対して指定した前記時間間隔指定情報とを記憶する指定情報記憶ステップと、前記画像取得装置から受信した、前記時間間隔指定情報に基づいて生成された画像取得時刻情報を含む画像データを記憶する画像記憶ステップとを含むことを特徴とする。

本発明のプログラムの第1の態様は、画像データを生成する時間間隔を指定するための時間間隔指定情報を、外部装置から受信する指定情報受信ステップと、前記時間間隔指定情報に含まれる前記時間間隔を用いて、画像データを生成する制御ステップと、前記時間間隔で生成される画像データに対して、当該画像データの取得時刻を示す取得時刻情報を付与する取得時刻情報付与ステップと、前記取得時刻情報を付与した画像データを前記外部装置に対して送信する画像データ送信ステップとをコンピュータに実行させることを特徴とする。

本発明のプログラムの第2の態様は、画像データを生成する撮像手段を備えた外部装置に対して送信され、前記撮像手段による画像データの生成処理の時間間隔を指定するための時間間隔指定情報を生成する指定情報生成ステップと、前記画像取得装置を特定する情報と前記画像取得装置に対して指定した前記時間間隔指定情報とを記憶する指定情報記憶ステップと、前記画像取得装置から受信した、前記時間間隔指定情報に基づいて生成された画像取得時刻情報を含む画像データを記憶する画像記憶ステップとをコンピュータに実行させることを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 3

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 5

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 6

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 7

【補正方法】削除

【補正の内容】